

動物が体の衛生や社会的な絆の形成の為にを行う行動を「グルーミング」といいます。日本語では「身繕い (みづくろい)」といえます。哺乳類では「毛繕い」、鳥類では「羽繕い」という表現もします。グルーミングには2種類があります。個体自身の身繕いが「セルフ・グルーミング」で、体についた虫や寄生虫の除去、翅や体毛を整える、それに水浴びや砂浴びも含まれます。ネズミの仲間の「げっ歯類」では、起きている時間の半分近くをセルフ・グルーミングに充てていると考えられています。

一方で、個体間や集団で行われるのが「ソーシャル・グルーミング」(社会的身繕い)です。これもセルフ・グルーミングと同じで、虫や寄生虫、異物の除去といった利点もあります。しかし、最も重要なのは、仲間や家族の信頼や絆の構築、時には群れの中の順位維持やトラブルの防止にも役立っています。

ソーシャル・グルーミングが頻繁に観察できる動物は、霊長類(サルの仲間)でしょう。動物園でもサル同士が毛繕いをする姿はよく見られます。先日、高崎市郊外の県道脇の歩道でも、数頭のニホンザルが集団でグルーミングをする姿が見られました。成体と見られるサルと、若いサルの群れでした。すぐそばに車を停めて、至近距離で撮影をしても、そんなこよは全く気にせず、10分以上この行動を続けていました。非常にのどかで幸せそうな光景でした。

(2024年10月中旬/群馬県高崎市倉淵川浦)

